

広聴特別委員会記録

平成30年2月9日

【開催日】 平成30年2月9日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後3時～午後4時3分

【出席委員】

委員長	長谷川 知司	副委員長	宮本 政志
委員	伊場 勇	委員	奥 良秀
委員	杉本 保喜	委員	高松 秀樹
委員	中岡 英二	委員	中村 博行
委員	藤岡 修美	委員	松尾 数則
委員	吉永 美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野 泰	副議長	矢田 松夫
----	------	-----	-------

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	事務局次長	清水 保
主査兼庶務調査係長	島津 克則		

【付議事項】

1 議会報告会について

午後3時 開会

長谷川知司委員長 広聴特別委員会を開会します。今回の付議事項は議会報告会についてで、始まる前に作業部会を開かれたことと思います。部会長の報告を受けたいと思います。

吉永美子委員 先日御報告させていただいたことに追加して、企画部会で考えた議会報告会について御報告させていただきます。会場については6会

場ですが、日程案として4月20日から26日の間の6日間。21日の土曜日は実施し、日曜日に行いません。19時から開始し、会場はきらら交流館、商工センター、高千帆福祉会館、厚狭複合施設、厚陽公民館、埴生公民館です。各担当が19日までに、20日から26日までの間で公共施設が使えない日を事務局にお知らせし、日程調整をするということにしています。参加していただく人数として30人を想定しています。各班、議員が7人ですから、そのうち一人を司会とし、グループを6グループ作り、そこに一人ずつ議員が入ります。30人想定なので、1グループに5人の市民が入っていただくことを考えています。そこでは了承を得て、録音させていただく。小さいグループなので、今までのやり方と違い、いろんな話があると思いますので、個人見解を求められた場合には、言えるところは個人の意見として言います。ただし、個人の意見を述べることも含めて、パワーポイントを使って、始めに司会が議会報告会のルールを説明することになっています。グループに分かれて行うやり方としまして、まず、3月議会について、各常任委員会、理科大と総合計画特別委員会の報告があります。その報告があったことに対して、市民の皆さんの質疑や意見を聞きます。次に、ほかに意見等ないですかということで呼び掛けをさせていただきます。この時間が大体45分を想定しています。これで大体1時間30分が終わります。それからグループの意見を議員が会場で発表するのに2分程度を取り、ほかのグループでどんな意見が出たのかを市民の皆さんも知りたいでしょうから、意見を発表するというようにしています。グループの議員がそれぞれ報告書を作るわけですが、報告をするに当たり、司会の役割が重要ということ。いろんな意見が出る中で、個人的に議員が何か言われるようなことがあったときには、司会が冷静にお話をさせていただくという、司会の役割が重要であるということと、終わりの宣言を司会がさせていただく。「盛り上がっているようですが、そろそろ時間となりました」ということで司会が終わりの宣言をしていただいて、それぞれのグループの意見を会場で議員が発表し、最後にアンケートの時間を取って、書いた方から受付に出していただき、退場していただくということです。飲み物については支障がないようですので、コーヒーやお茶を飲みながら、いろんなお話をするという、ぎっくばらんな会にしていきたいと思っています。会場で意見をまとめたものを、後日、使用した会場に貼り、いろんな方に「議会報告会でこんな意見が出た。それに対して議会はこのように対応した」ということが分かるようにさせていただきました。企画部会としてネーミング案をまとめましたので、PR部会の皆さんとどのようにしたら良いのかを審議していただけたらと思います。

長谷川知司委員長 名前は後にしたいと思います。

吉永美子委員 分かりました。報告は以上です。

長谷川知司委員長 P Rの報告を受けてから、まとめて質問を聞きたいと思
います。

松尾数則委員 P R部会として、どのような手段でP Rを行っていくのか、そ
れにはどのくらい経費が掛かるのかも踏まえて、いろいろ検討してきま
した。その内容は、少し前回話しております。新聞の折り込みは、一番
楽で、いいなと思っていたんですが、大手4社に折り込みし、新聞を取
っていない世帯にポスティングすると、約30万の費用が掛かります。
ポスティングをしなければ七、八万だそうです。自治会便を使うこと
については結論が出ておりませんが、基本的な流れとしては市を通して依
頼を行います。その結果はいただいております。前回、議会でアンケ
ートを取りましたが、大変苦勞した記憶がありますが、かなりの労力を
割かなければいけないという意識でおります。広報車の件ですが、市の
職員が運転しなければいけないので、議会事務局の運転で、議員が乗り、
広報を行うという内容になるのではないかと思います。FMサンサンき
ららの件ですが、FMサンサンきららにはシティ・インフォメーション
があり、市の情報を流しています。その中の一つに議会報告会を入れて
もらいたいという手段もやっつけばよいのではないかと。これにはお金
は掛かりません。FMサンサンきららの利用は是非とも考えていこうか
なと思っております。商工会議所の関係で、今回、山陽、小野田、両会
議所の関係者がいらっしゃいますので、商工会議所を通じて議会報告会
のチラシを配布してもらおうと考えています。これも、まだ答えはいた
だいておりますが、いい方向に行くだろうと思っております。そのほ
か、理科大生も巻き込んで行きたいなと思っております。企画から参加
人数について話がありましたが、P R部会では目標は二桁としておりま
す。市議会は議会だよりを1年に4回出しています。議会だよりには一
般質問の内容や委員会の審査内容なども記載していますので、この中に
議会報告会のスケジュール等を折り込めば一番いいのかなと思いま
したが、3月議会の議会だよりの発行は5月15日になるので、議会報告会
には間に合わないという状況です。FMサンサンきららはやっつけいこう
と思っております。自治会便については検討中です。新聞折り込みは検討
から外しております。この内容を見て、各種団体に口コミ等を通じてや

っていくというのは、この様子を見て、今後考えていこうと思っています。

長谷川知司委員長 企画部会、PR部会から報告がございました。どちらでも結構ですので、皆様から質疑、確認があればお願いします

中村博行委員 ポスターの件です。従来は公共施設だけA2の大きさで出していましたが、利用者が多いということで金融機関、JAにも掲示をお願いしようという方向で話し合っているということを確認させていただきます。

奥良秀委員 補足ですが、市の広報車は市の職員が運転し、なおかつ空いている車を借りることができるということであって、優先的には一番下です。なるべく早めに予約を入れて、なおかつ、予定がなければ使わせていただけるという感じでやろうと思っています。議会報告会をやる日に、その地区を回って、PR部会の人間が乗るようになると思うんですけど、その文面は企画部会のほうで、どういうふうな文言で語りかけて、呼んでいくかというのは、またお願いしたいと思います。

長谷川知司委員長 市の職員を使わないといけないとなると、市の職員にも迷惑を掛けるということですね。アンケートについては話し合っていないですか。

松尾数則委員 アンケート内容についてはまだです。企画で決まった内容で、アンケート用紙の内容はがらっと変わってくると思います。

高松秀樹委員 PRの時期はいつぐらいからですか。

松尾数則委員 今回は3月議会の議会報告会をするという内容ですので、それに合わせた時間になるだろうと思います。4月20日からですから、4月に入ってからになるかもしれません。

高松秀樹委員 ポスターやチラシを作っていくんですが、そのスケジュールをきちんと立てておかないと、それ以前にポスターやチラシはいるわけですよね。早め早めのほうがいいのかなというのが1点。気になるのは、目標人数二桁というのが99人ですか。10人前後という話でしょうが、何もしなくて集まるとは思えないです。二桁をどうやって集めるのか。

企画部会では30人程度という話をしている、相当開きがあるのかなという気がするんですけど、本当にどうやって、その人たちを集めてくるのかというのを考えるべきだと思います。PRしたからといって、自動的に人が集まるとは思っていませんので、そういうことも含めて、我々も知恵を出しますが、時間もないので、そこを真剣に考える必要があるかと思いますが、その辺は議論されたんですか。

松尾数則委員 二桁という話は、基本的に企画でグループを作ってやるという話がありましたので、そこからいろんな形の数字が出てくるのではないかと思います。二桁というのは99人から10人までありますので、そういう話題にもなりましたが、グループの作り方によって参加人数は違ってくるのではないかと話を合っています。言い忘れてましたが、例年どおり3月議会の最終日、今回であれば3月28日にチラシを議員には配りたいと思っています。それ以後に各会場や金融機関にポスターをはっていくという流れになるだろうと思います。

高松秀樹委員 企画部会では30人程度という話ですが、そのぐらいは参加していただけるという考えでいいんですか。

松尾数則委員 それは企画の内容によると思います。

長谷川知司委員長 30人で6会場だから180人になりますが、180人を集めるとしたら議員が22人いるので、一人当たり10人弱、来ていただくように呼び掛けをしなくてはいけないと理解しています。それも全て中身の問題だと思います。今までのパターンですと、来られた方が面白く感じられなくて、だんだん減って行って、尻すぼみというものもあったと思うんです。先ほど企画部会では島を作って、飲み物も出して、アットホームな感じで話しやすい場を設けて、議会報告会を行おうと考えています。そういうことで1会場当たり30人ということが出ました。ここで大事なのは、1会場当たりの人数ではないという意見もあると思いますが、人数をどうするか皆さんの意見をお聞きしたい。企画部会では30人、PR部会では二桁ということですが、この差を確認し、何人にするか決めたいと思います。

松尾数則委員 議会報告会に人を集めようとする場合、その内容によると思います。その内容によって、どの程度人が集まるのか。二十何名集めようという数値、設定がいろいろあるのかどうか。

高松秀樹委員 過去を見ても設定はいるでしょう。ずっと下がってきているでしょう。事務局が資料を出していましたが、減少傾向であるということですよ。中身については、来てから初めて知るわけです。来てみて、非常に面白かったという話になるのかなと思います。どういう議案、案件について説明をするということについて、興味のある人は来られるかもしれませんが、中身ではなくて、最初はどうやって市民の皆さんに参加していただけるのか。過去のデータ、プラスアルファで、今回リニューアルして、ポスターやいろんなPRをする。それでどのくらい増えるのか。それでも足りないんですよ。足りない部分をどうしていくのかを考えていかない限り、我々企画が30人程度で最低でもいきたいという数値にはいかないと思っています。何もしなくても、その数字にいくのなら、それはそれで僕はいいと思います。そうじゃないと思いますよ。

松尾数則委員 島を五つか六つ作って、それに人数がいる。人数が少ない場合、島を少なくすればいいだけの話だと認識しています。

高松秀樹委員 話が全く違って、それは当たり前で、我々もそうするつもりです。議会報告会の意義を考えたときに、30でも50でも20でもできますが、一人でも多くの市民に議会の活動、行政の情報を知らせていただくというのが目的なので、そのためにはより多くの人に来ていただきたい。最初から100人来ていただければいいですが、努力して30人ぐらいでやりたいということで30人を挙げているだけです。

奥良秀委員 私たちもどういうふうにPRしていくかということで話をしました。今までの議会報告会は全然人がいない状況で、目標をどうしましょうかと部会の中でも話があって、実際一桁よりも二桁のほうがいいし、絶対増えたほうがいいということです。新人も入り、改革をして増やしていきましょうねという話をした中で、部会長からは話がなかったですが、市民生活課に言って、自治会便に入れてもらうなど、今までやったことがないようなPR活動をしてみて、人の集まり具合などの動向が見えてくるのかなと思っています。その動向が見えてくれば、6月議会の報告会のときに活動の修正をしていけばいいし、それをどんどん深めていく方向で広聴特別委員会が開かれていると私は思います。30人というのは私も島を作ってやるにはちょうどいいぐらいの目標設定だと思いますが、後々はもっと大きな人数にしていきたいなと思っています。二桁というのが10人とか11人という話ではございません。

高松秀樹委員 僕が言いたいのは、目標設定をしっかりとしましようということです。10人でも30人でもいいということではなくて、30人なら30人に向けて皆で努力していきましようということです。その結果はもちろん別ですよ。30人に設定したから30人集めなくてはいけないという話ではないですが、ある程度設定する必要があると思います。それはなぜかという、過去を見た場合に、「多ければいいですね」とずっとやってきて、ずっと人数が少なくなっているんです。最初は縛りをかけ、「1議員3人必ず連れてきてください」としたんですが、それでも掛ける人数にはいかなかった場面もあったんです。今回は皆さんの熱意を聞くと、そんな形にはならないと思っていますが、30人なら30人を皆で「市民のためなら、やりましよう」という熱意が必要かなという思いで、そういう人数を出しています。

長谷川知司委員長 人数についてほかに意見があればお願いします。今回の議会報告会はとにかく「やってみよう」です。これを続けなければいけないということではなく、やってみて、悪かったら変えていくことが大事だと思います。30人がどうなのかということはあると思いますが、やってみることが大事だと思います。そういう意味で高松委員も言われたと思います。松尾委員も二桁と言われているので、目標設定30人で良いか悪いか皆さんに聞いてみましょう。その結果、反省会でいろんなことを話せばいいと思いますので。

高松秀樹委員 設定ということでもいいと思います。御存じのように全国の議会報告会は参加者の減少に歯止めが掛からないというのが事実だと思います。うちだけの話ではない。でも、山陽小野田市議会は改選後、これではいけないということで、いろんなところで知恵を出して、一人でも増やしていこうという、もちろん松尾委員もそのつもりでおっしゃったと思うので、目標設定をして、足りなかったら、また反省して、次にどうするかという話をするというつもりで僕も言ったので、必ずそうじゃないといけないという話ではないですよ。

長谷川知司委員長 目標設定は30人ということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）そのためにはどうしたらよいかということをお話さなくてはいけないと思います。PR部会から言われた自治会便、FMサンサンきらら、会議所を通じた配布等ありますが、議員は何をどうするか。例えば、6会場で180人であれば、議員一人当たり10人弱を連れて来ていた

だくということがあればいいんですが、これについては地域性があると思います。例えば竜王校区の人が埴生校区の人にまで声を掛けてきていただくということがどれだけできるのか。あるいは埴生校区の人が高千帆校区までということもありますから、校区ごとに議員が5人以上連れてくるようにするとかであれば、人数のばらつきは出てきますが、平均すれば目標に近づくのではないかと思います。そういうやり方で議員も声掛けを一人5人以上するというので、どうなんでしょうか。議員に対する役割として、ほかにあれば。埴生校区であれば4人議員がいらっしゃいます。5人掛けても20人です。厚狭校区は5人ですから25人。30人には遠いですが、実際、声掛けが可能なのは5人ぐらいかなと思いますので、5人以上ということはどうでしょうか。ほかに意見があれば。

伊場勇委員 初めは声掛けが必要じゃないかと思います。理想は「議会報告会をしますよ」というときに、市民が「行ってみよう、私も行こう、あの人も誘ってみよう」というのがベストだと思いますが、そこまで今の段階では残念ながらいっていない。議員が呼んでも「あの会場も行って、この会場も行って」と一杯呼ばれて、結局なかなか来てくれないという方もいらっしゃる。初めは会を作るという意味でも、しっかり声を掛けて、その会を盛り上げて、盛り上げたものを次につなげていく、いいものに改良してということをしていかなければいけないと思います。一人5人がいいのか、10人でも100人でもいいと思いますが、最低の目標を30人と設定したときに、担当班の議員7人がしっかり話し合っ、会を成功させるために作戦を立てながら、一人何人にするのかということも話し合ったらどうかと思います。

長谷川知司委員長 ほかに意見はございますか。30人という目標は皆さんに認めていただいて、やろうということなので、それであれば、10人近くですが、5人以上ということでもいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。班ごとに集まってやるというのではなくて、説明する会場の中学校区ごとに、説明する班ではないけど、行くよということにしないでまずいんじゃないかなと思いますが、どうでしょう。傍聴議員を来ないようにしていますから、自分も行けないけど、行ってくれというののもいかなものかというのもあります。そこは難しいところです。自分が参加するところまで、遠くなるけど来てくださいというのがいいのかどうか。

松尾数則委員 傍聴議員は除くという話がありましたけれど、例えば、島に一人議員が入って、その人が全て知っているかどうかは話しが別だと思いますし、それ以外に説明するための議員が要らないかという話もありました。

長谷川知司委員長 説明するための議員というのはちょっと理解できないんですが。どういった意味ですか。(何事か発言する者あり) グループのほうですね。企画部会で話したところでは、司会を除いた6人が六つの島に入るということで、一つの島で5人と話せば5掛ける6の30人で、議員も一人ずつ入っていくということですが、それより増えれば、もっと多くの市民を相手に話をしないといけないし、少なければグループ数を減らしていったって、余った議員は一人ではなくて二人で一つの島に入っていくということも可能だと、企画では話をしています。自分の専門の委員会ではなくて分からないときは、ほかの島にいる専門の委員会の議員に聞くということもいいんじゃないかという声もあります。その間、市民はお茶でも飲んでいただくということで間を持たせばということもありました。これは集まる市民の数によって、私たちが臨機応変に対応しないといけない問題です。

松尾数則委員 議員がある程度人を集めるという話は、従来からやっていたんですが、例えば、私が本山に行って人を集めるというのは基本的に不可能なんですよ。そういうときに連携していろんなことができるのか。そういう体制も作っていかねばいけないかもしれません。

奥良秀委員 今回、企画部会とPR部会に分かれています。今話が出ている呼び込みですが、なら、何のためPR部会なのかというのがあるんです。今回PRをするための部会を作って、今までにないアイデアを出して、人を集めようとしている中で、議員が5人集めてくるというのは、PRしなくてもいいんじゃないのという話にはならないでしょうか。

長谷川知司委員長 今の話では、そのためのPR部会であり、PRを考えたのだということで、議員のノルマではなく、その結果は別として、PRをきちんとやってみたらどうかということですが、このことについて何かありますか。

杉本保喜委員 PR部会もいろいろと検討されたということですが、この中で一番期待できる場所は何箇所ぐらい、幾つの方法がありますか。

長谷川知司委員長 この中でというのは、いろいろな手法の中でということですか。

松尾数則委員 まず100%採用したいと思っておりますのは、FMサンサンきららです。また、商工会議所を是非とも取り込んでいきたいなと思っております。また自治会便にも、まだはっきりしたわけではないですが、これは基本的には全市民に届きますので、いろいろな形で取り組んでいきたいなと思っております。ポスター等は、先ほどお話がありましたように金融機関とか商店とかも含めて、いろいろな範囲を広げていきたいなと思っております。ただその辺の範囲を広げたことにより、どのぐらい集客力があるかというところまでは検討しておりません。

長谷川知司委員長 金融機関に貼らせていただけるかという可能性はまだ探っていないわけですね。はい、分かりました。

杉本保喜委員 商工会議所の機関誌はいつも1日ぐらいに出るのですか。

松尾数則委員 月に1回ということですが、何日に発行されるかはつかんでおりません。

長谷川知司委員長 月に1回としても、原稿締切がそれよりも前でしょうから、これは会議所の都合に合わせなければならないと思います。

奥良秀委員 補足ですが、商工会議所だよりというものが月に1回ありまして、それを月の始めに発刊しています。締めはその前の1週間前か2週間目には区切りがあると思います。それプラス、いろいろな委員会とか議員とかそういった方にはA3を三つ折りしたぐらいの封筒で随時いろいろな会報も配られています。その中でどれを採用していくかというのは今後また考えていけばいいことだと思いますし、また商工会議所の会頭、副会頭等にもお願いに行って、是非こういうことで会議所の皆さんも協力していただけるようにという、例えば委員長であったり、議長であったりとか、そういった方がお願いに行けばいいのではないかと思っております。今まで人が集まらない状況でPR部会というものを作って、人を集めようとしている段階であって、目標は30と決まりましたけどその30に向かってやろうという段階であって、これをやってみなければ分からないというのが現状だと思います。

長谷川知司委員長 奥委員が言われるとおり「とにかくやってみよう」「やらなければ分からない」というのは大事だと思います。やるのは大事だと思います。これプラス議員が自分たちで今までどおり声掛けできるものはやるということだと思います。

松尾数則委員 いろいろと話がありましたけれど、議会報告会があることを知らなかったという人が随分いるという話は聞いていまして、そういうことがないように議会報告会は必ずこの日にありますよということを広報できるいろいろなシステムを作っていこうということがPR部会の考え方です。

長谷川知司委員長 ほかにありますか。では大体今決まった中で矛盾というのはなかったと思いますが、これをもう1回整理して、それで皆様に確認していただいたほうがいいと思います。今日の企画とPRで今まで話合ったことをもう1回整理して、皆さんに投げ掛けていきたいと思えます。それについて本会議初日の2月19日にはあらかじめの方向性を皆様にお示したほうがいいと思っておりますので、それまでに委員会で決まったことを皆様方にメールでお送りして、間違い等があればそれを事務局へ返していただくということで、委員会を開く必要があるかどうかはまたその内容によって話をしなければならないと思います。ネーミングに入る前に、大体今の形でやっていいですか（「はい」と呼ぶ者あり）ではそういうことで、ここで5分ほど休憩して次は3時50分から開会いたします。

午後3時45分 休憩

午後3時50分 再開

長谷川知司委員長 それでは広聴特別委員会を再開いたします。再開後の議題につきましては、まずネーミングということでいきたいと思えます。今まで議会報告会という名前でしたけど、これをどのように変えていったらいいのかということで、まず企画部会で話し合われたと聞いておりますので、案が出たのであればお願いします。

吉永美子委員 皆様からいろいろなネーミングについて案が出ておりましたが、企画部会としてはこれがいいのではないかとということで、PR部会の皆様に御提案をさせていただくのが、「議会カフェ。まちづくりだよ全員集合！」以上です。

長谷川知司委員長 議会カフェが大きいということですか。

吉永美子委員 はい、少し大きめに書いて、二段目で「まちづくりだよ全員集合！」ということですか。

長谷川知司委員長 これ一つだけです（「はい」と呼ぶ者あり）個人で結構です。ほかに意見があれば出してください。

松尾数則委員 ネーミングについては、企画のほうでやられているということなので、PRのほうでは基本的に意見を出していません。

長谷川知司委員長 個人で結構です。もしあれば（「ありません」と呼ぶ者あり）ホワイトボードを用意しましたので、一杯書けます。では「議会カフェ。まちづくりだよ全員集合！」でやってみるということでいいですか（「はい」と呼ぶ者あり）それではネーミングはこのようにすることで行きましょう。ほかにありますか。

高松秀樹委員 ちょっと昔のことを教えてほしいのですが、過去も市役所に来られる人に向かってロビーに議会報告会のポスターとかを貼っていましたか。

島津議会事務局主査 この4年間は貼っていないように思います。

高松秀樹委員 視察に行くと議会掲示板みたいなものがありますよね。予算が伴うのですぐには無理ですけど、報告会だけでも何か議会が貼るスペースとかを要求することはできますか。

清水議会事務局次長 今回の御提案は、市役所の玄関のところにある掲示板にはあったらどうかということでしょうか。掲示板は貼る部分がありますので、それは可能だと思っています。別のものを何か作るということになればまた違うかもしれません。

高松秀樹委員 今後、広聴特別委員会で議論されればよいと思いますが、視察に行ったら結構何月何日何時から何委員会とかされていますよね。やはり市民の表玄関なのでそういうのも含めて、今後それは協議していただきたいということと、議会報告会についてはせっかく皆さん下に来られたときに目に付く場所に置いておいていただきたいということがありますので、是非これはまたPR部会のほうでも検討していただければと思います。

長谷川知司委員長 今の件につきましてはここだけでは決められない問題がありますので、今後事務局を通して担当部局とも話していただきたいと思います。その他皆さん何かありますか。

吉永美子委員 議会報告会のPRというのが出たので思い出したのですが、以前にどこの市だったか忘れてましたが、視察に行ったときに何々市役所、何々市議会というのが正面のところに出してあって、山陽小野田市役所は市議会というのがどこかにアピールされていますか。

島津議会事務局主査 私も視察で見たことがありますけども、確認してみます。ただ市議会独自で何か出ているようなものはございません。

吉永美子委員 やはりそういった議会として広聴特別委員会を作って、とにかく議会のことをどんどん知ってもらいたいというところを議会改革という名の下にやっているわけですから、市役所に来られたときに山陽小野田市役所、山陽小野田市議会というのが出るような形に求めていくべきではないかと今日改めて思いました。

中村博行委員 今の関連ですけども、もうここで委員会として決めて、議運のほうで諮ってもらって、また予算要求といったものも、議会として独自の掲示板なりを設けようということをここで決めたらいいのではないですか。早くやりましょう。

長谷川知司委員長 この委員会だけで決めることができるのであれば、取りあえずできるという仮定の下で決めさせていただいていいですか。今後事務局がいろいろな部局と折衝して、いろいろなハードルがあるかもしれませんが、取りあえずできるという仮定の下でそのような議会の掲示板を設置するというところでよろしいでしょうか。

松尾数則委員 例えば今日議員で誰が出席しているというのが出ていたような気がしたけど、あれとは違うのですか。

長谷川知司委員長 入口のところに出席議員のランプがつきますよね。

松尾数則委員 だからそこに議会というのをかければそれで済みませんか。

杉本保喜委員 皆さんが言われるのは、たぶん議会のインターネットを開くと月間行事みたいなのが出ていますよね。特にうちは、最近はやその議会から視察に来られることが結構多いですよ。そういうのも一つの議会の活動のPRとして一般の人たちに知ってもらおうというのは非常に大事なことだと思います。そういうところを含めて、今日の議会の活動というような感じで毎回表示するというのも一つの方法だと思います。その中に議会報告会はここで今日やっていますよということで、その都度PRしていくというような形の議会状況表というか、活動表というか、そういうのを置いてもいいのではないかと思います。結構よその市町はそういうのがありますよね。

島津議会事務局主査 確認です。掲示板で行事予定を出すような方法を考えているということでしょうか。特に電光掲示板とかいうことになるちょっと検討が必要だと思いますが、板のようなもので表示するというところでしょうか。

高松秀樹委員 せっかく中村委員が予算要求うんぬんという話をされているので、予算要求するのであれば予算要求すべき。つまり若干お金が掛かるかもしれませんが、電光掲示板みたいな形を、委員会として議長に要望したらどうかなと個人的には思います。紙を貼るとか、プレートを掛けるとかそういうものではなくて、きっちりしたものだと認識しています。

長谷川知司委員長 それとさっき吉永委員も言われた山陽小野田市役所、山陽小野田市議会というプレートもどうかということですよ。それも合わせて表示していただくことをこの委員会から希望するということですね。一応これについてはうちだけでやると言っても、いろいろなハードルがありますので、これは議会運営委員会のほうに提案するというところでしょうか。事務局として提案そのものにハードルがあるかもしれませんが、そのことはまずくないですか。どうですか。

清水議会事務局次長 山陽小野田市役所という看板が玄関入る左側のところに横に並んでいますよね。その下にでも並べたらどうでしょうかということでしょうか。

吉永美子委員 二元代表制ですから、横でも下でもいいですけど、とにかく市役所と市議会ということを出していただけたらありがたいなと思っているわけです。

清水議会事務局次長 たぶん議会棟のイメージで山陽小野田市役所と市議会というところで表示しているのではないかと思います。ただ、別棟で議会棟があるわけではなくて、何階に議会がある、そこが議会棟であるというところで看板に何々市議会ということが書いてあるという部分だろうと思いますので、その辺りは他市の状況も見ながら、どういうものにしたらいいかということもあるでしょうから、下に同じものを掲げたらいいのかということもあるでしょうから、その辺はちょっと詰めてみなければ分かりません。

長谷川知司委員長 これにつきましては、この委員会だけでは結論が出ませんので、その意見として議運のほうに挙げるということによろしいでしょうか。ほかはございますか。その他で結構です（「なし」と呼ぶ者あり）ではこれで広聴特別委員会を閉じさせていただきます。どうもお疲れ様でした。

午後 4 時 3 分 散会

平成 3 0 年 2 月 9 日

広聴特別委員会委員長 長谷川 知司